

シンポジウム

「OGIB を見直す」

司会 今枝 博之（埼玉医科大学消化管内科）

内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科生体免疫栄養学講座）

OGIB に対して小腸内視鏡診療ガイドラインで診断アルゴリズムが提言され、カプセル内視鏡などが施行されるが、それでもなお原因不明のことも多い。小腸カプセル内視鏡は保険収載されて以来約 15 年経過し、性能の改善により OGIB の診断能の向上が期待される。また、AI や遠隔診療による診断支援も報告されている。本シンポジウムでは OGIB に対するアプローチやカプセル内視鏡による診断能の向上、工夫、ガイドラインの評価など幅広い内容をご発表していただき討論したい。奮ってご応募頂きたい。